

授業概要

本授業では、心理学をはじめとするあらゆる学問で活用される統計学の知識について学ぶ。心理学研究法Ⅱでは、心理学統計法Ⅰで習得した基礎的な統計知識を土台に、より踏み込んだ心理統計の知識やスキルについて講義する。具体的には、分散分析、重回帰分析、因子分析を中心とした統計手法や関連するトピックについて詳しく紹介していく。本授業を通して、リサーチクエスチョンに応じた解析を柔軟に行うことができる力を身に着けることを目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：授業の目的と概要について
第 2 回	心理統計の基礎
第 3 回	記述統計
第 4 回	統計的検定
第 5 回	相関
第 6 回	t 検定
第 7 回	3 つ以上の平均値の比較①：分散分析の基礎
第 8 回	3 つ以上の平均値の比較②：一要因分散分析
第 9 回	3 つ以上の平均値の比較③：二要因分散分析
第 10 回	3 つ以上の平均値の比較④：二要因混合計画
第 11 回	重回帰分析①：重回帰モデル
第 12 回	重回帰分析②：結果の解釈
第 13 回	因子分析①：因子とは
第 14 回	因子分析②：因子分析の手順
第 15 回	検定力と効果量
第 16 回	定期試験（筆記試験）

到達目標

1. 各統計手法の特徴を理解し、身に着けた知識を自らのことばで説明できる。
2. データの意味を理解し、結果を適切に読み取ることができる。
3. 条件に合った統計手法を適切に選択することができる。

履修上の注意

- ・心理統計法Ⅰの単位を修得していることを前提に受講してください。
- ・出席状況の基準を見たなさない場合は、定期試験を受けることはできません。
- ・授業中の私語やスマホの利用は控えてください。

予習・復習

- ・授業の資料は事前にオンライン上にアップします。各自、必ず目を通しておいってください。関連するトピックやわからない点は事前に調べておいってください。
- ・授業内容は各自しっかりと復習し、知識として定着させることを意識してください。強制ではありませんが、講義ノートを作成することをお勧めします。

評価方法

定期試験（50%）、授業内での課題（30%）、授業への参加態度（20%）を総合的に評価する。

テキスト

教科書は特に指定しない。必要に応じて、授業内参考となる文献を紹介する。